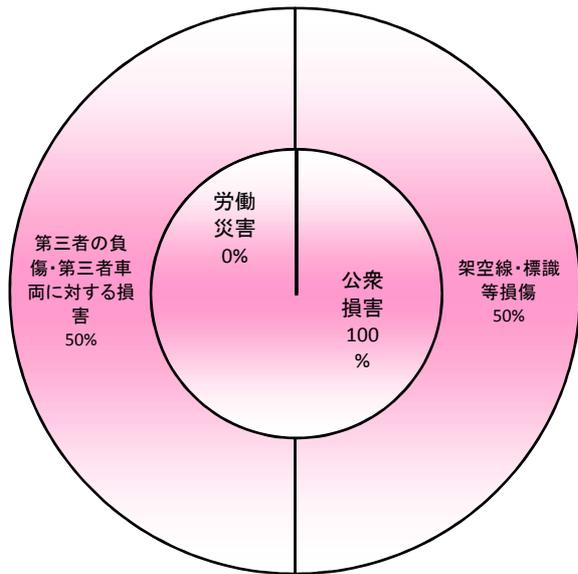


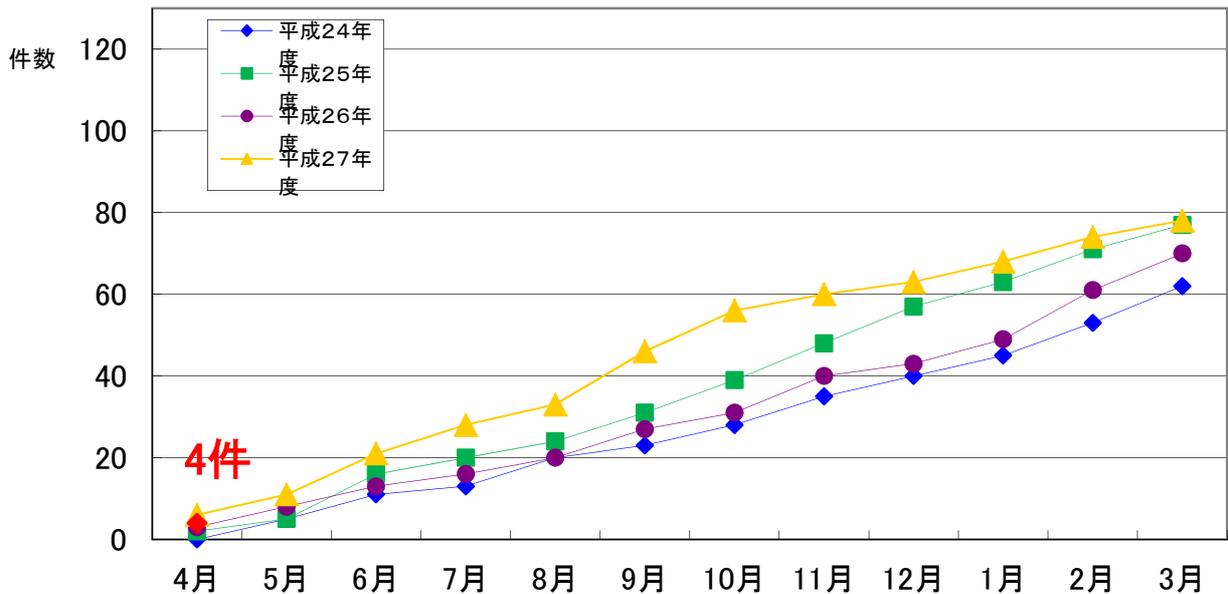
●平成28年度 工事事故発生状況(発生形態別)



発生形態		H26	H27	H28	過去3年間計
労働災害	建設機械等の稼働に関連した人身事故	4	4	0	8
	部材の加工作業等により自らを負傷	2	1	0	3
	資機材等の落下や下敷きで負傷	4	2	0	6
	墜落	6	7	0	13
	準備作業、測量調査業務等における人身事故	0	0	0	0
	その他労働災害	14	13	0	27
小計		30	27	0	57
公衆損害	架空線・標識等損傷	8	13	2	23
	地下埋設物件損傷	7	4	0	11
	第三者の負傷・第三者車両に対する損害	21	17	2	40
	その他公衆損害	8	14	0	22
小計		44	48	4	96
その他事故		1	5	0	6
計		75	80	4	159

● H28年度重点的安全対策項目

(参考)工事事故のうち、「その他公衆損害」における車両管理業務等の車両の自損事故を除く事故件数(車両管理業務等の車両の自損事故を除いた工事事故件数)

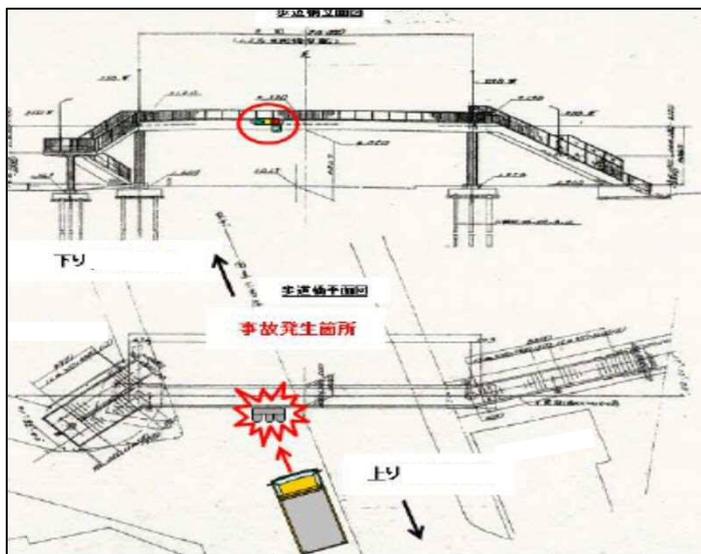


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成24年度 累計	2件	6件	8件	18件	23件	31件	42件	50件	63件	66件	67件	74件
(月毎)	(2件)	(4件)	(2件)	(10件)	(5件)	(8件)	(11件)	(8件)	(13件)	(3件)	(1件)	(7件)
平成25年度 累計	2件	5件	16件	20件	24件	31件	39件	48件	57件	63件	71件	77件
(月毎)	(2件)	(3件)	(11件)	(4件)	(4件)	(7件)	(8件)	(9件)	(9件)	(6件)	(8件)	(6件)
平成26年度 累計	3件	8件	13件	16件	20件	27件	31件	40件	43件	49件	61件	70件
(月毎)	(3件)	(5件)	(5件)	(3件)	(4件)	(7件)	(4件)	(9件)	(3件)	(6件)	(12件)	(9件)
平成27年度 累計	6件	12件	20件	29件	34件	46件	56件	60件	63件	68件	73件	77件
(月毎)	(6件)	(6件)	(8件)	(9件)	(5件)	(12件)	(10件)	(4件)	(3件)	(5件)	(5件)	(4件)
平成28年度 累計	4件											
(月毎)	(4件)											

■問合せ先:企画部 技術調査課 西村・古賀 (TEL 048-600-1332)

発生日時	平成 28 年 4 月 15 日 (金) 17 時 5 分			
工事情報	道路系事務所 As舗装工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	—	—	—	信号の歪み・ひさし損傷
事故概要	標識車が標識を格納しないまま、歩道橋に添架されている信号に接触し損傷(ゆがみ・ひさし損傷)させたもの			
	公衆損害—第三者の負傷・第三者車両に対する			

事故発生状況



格納できていなかった(1.5m)

- ・工事規制解放後、標識車が標識を格納しないまま(H=5.0m)に、資材基地への回送途中において、交差点に架かる歩道橋(桁下高H=4.8m)に添架されている信号に接触し、信号灯と標識車の標識上部が破損した。
- ・規制解除の時間が迫り、急いで規制撤去しないといけなくなり、予定していた一次下請けの運転手の代わりに元請社員が運転した。
- ・元請社員は急いだあまり、電光標識を下げることを忘れた。

【事故発生原因】

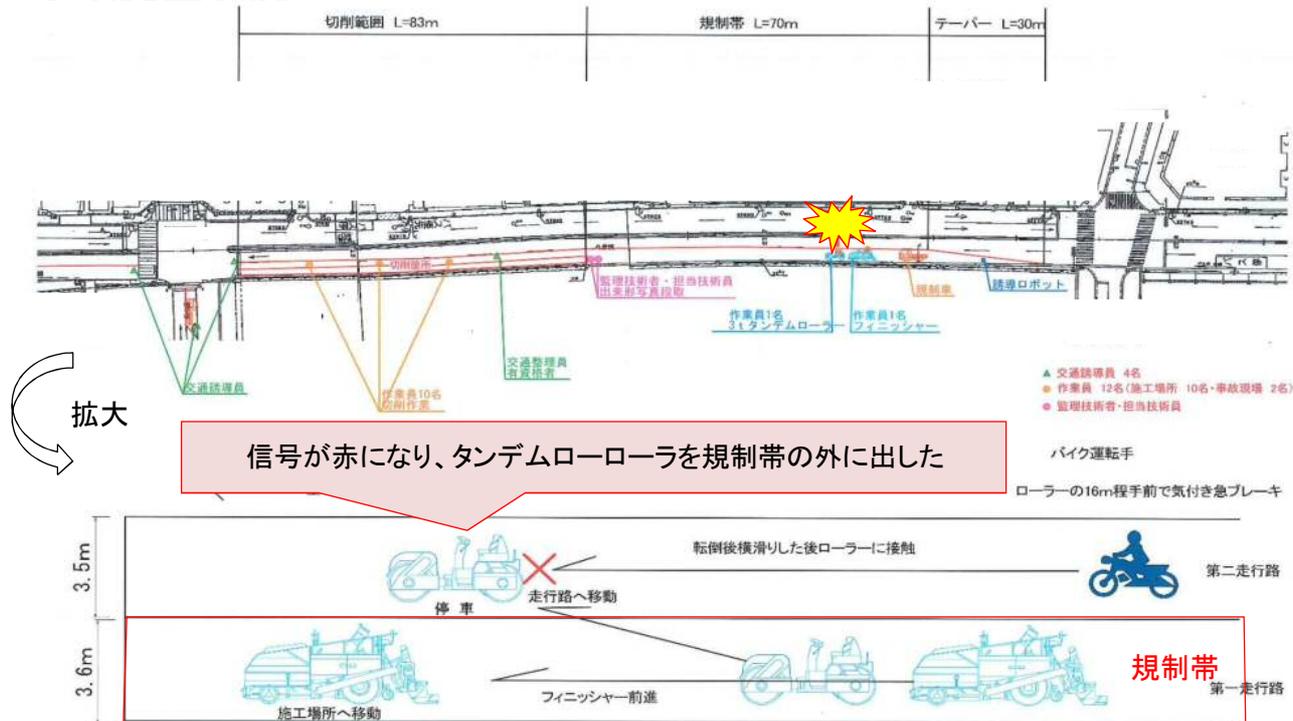
- ・標識を下げないまま走行
- ・予定外の元請け職員が運転など

【事故防止のポイント】

- ・規制安全管理に関する周知・徹底
- ・人員確保並びに作業員の不足が生じた際の対応策の検討など

発生日時	平成 28 年 4 月 20 日 (水) 21 時 55 分			
工事情報	道路系事務所 維持修繕工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	—	—	—	第三車両(バイク)損傷
事故概要	信号の変わり目で重機(ローラ)を規制帯外へ移動する際、バイクが急ブレーキをかけ転倒。 公衆損害-第三者の負傷・第三者車両に対する			

事故発生状況



- ・片側2車線道路で1車線規制を行っての切削作業をしていた。
- ・オーバレイの段取りでフィニッシャーを施工箇所まで移動する際に、フィニッシャーの前にタンデムローラが置いてあった為に、後方の信号が赤なったのを確認してローラを規制外(走行路)へ移動し停車したが、タンデムローラを規制内に戻す前に信号が青に変わり、先頭を走行してきたバイクが直前までローラに気付かず、急ブレーキで停車しようとしたが、タイヤロックが掛り転倒してしまった。その際に横滑りした状態でバイク前輪がローラに接触した。
- ・誘導員の配置はなく、ローラ及びフィニッシャーの運転手2人の判断で機械の移動を行った。

【事故発生原因】

- ・オペレータ2人で判断して移動させた
- ・誘導員を配置していなかったなど

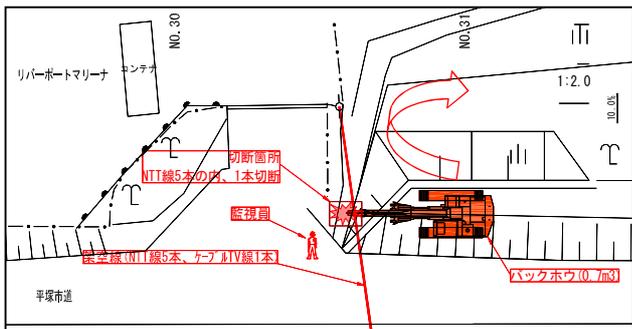
【事故防止のポイント】

- ・単独の判断をしないことを周知・徹底
- ・規制帯内から出る時は誘導員の指示に従うことを周知・徹底させるなど

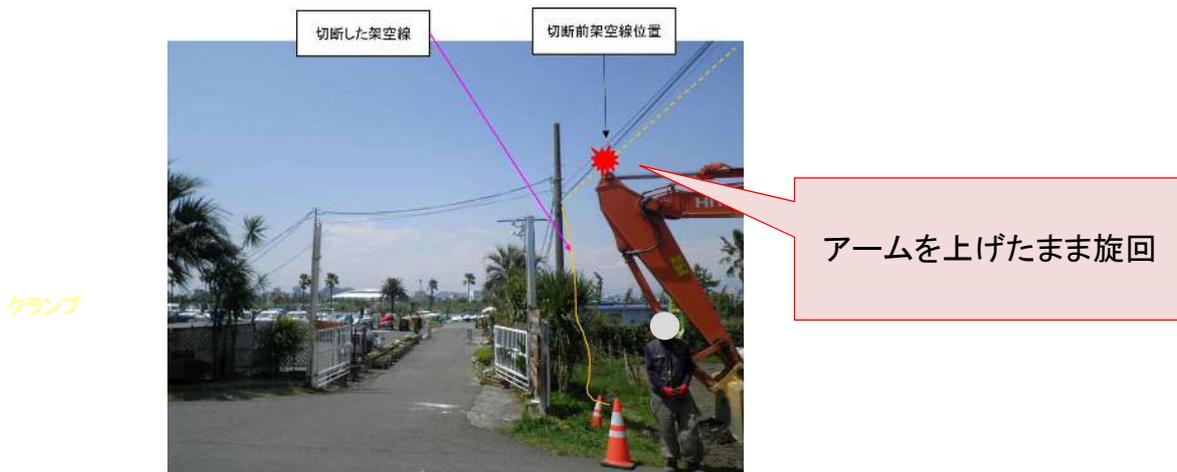
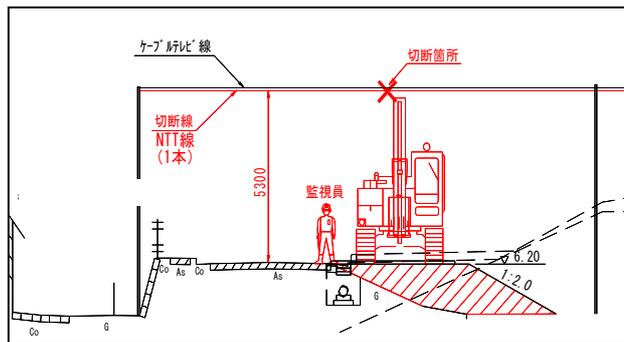
発生日時	平成 28 年 4 月 20 日 (水) 11 時 0 分			
工事情報	河川系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	—	—	—	NTT線切断(被害1件)
事故概要	法面整形中、バックホウのアームがNTT架空線に接触し切断したもの 公衆損害—架空線・標識等損傷			

事故発生状況

【平面図】



【断面図】



- ・盛土工に伴うバックホウ(0.7m³)での法面整形施工中、バックホウアームを上げた際、架空線に接触し、それに気が付かず旋回したところ、NTT線を1本切断した。
- ・NTT線の接続先に状況を確認した所、電話回線とインターネット回線が不通になっている事を確認した。

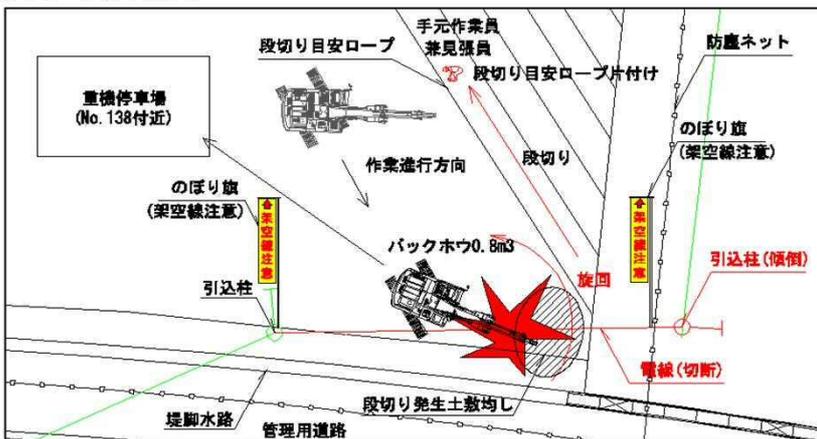
【事故発生原因】
 ・架空線等に対する注意喚起不足
 ・バックホウのアームを上げたまま移動
 など

【事故防止のポイント】
 ・注意喚起を徹底する
 ・アームは下げて移動するように指導
 等を徹底する
 など

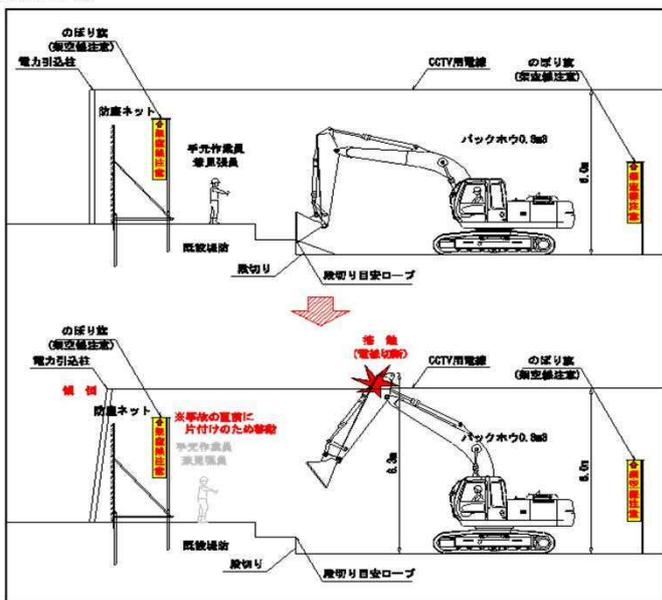
発生日時	平成 28 年 4 月 30 日 (日) 11 時 45 分			
工事情報	河川系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	—	—	—	電源線の切断(CCTV)、支柱1本倒壊
事故概要	バックホウ移動中に、アームを上げたまま旋回したところCCTVの電源線を切断し、支柱一本倒壊させた			
	公衆損害—架空線・標識等損傷			

事故発生状況

【事故発生時の作業平面図】



【事故発生時の作業断面図】



・段切り発生土の敷き均しが完了し、バックホウを現場中央付近(No.138付近)の重機停車場所に移動しようとしたが、翌日が休工期という事もあり、当日の作業を終了することに気が向いてしまい周囲の確認がおろそかになって、上空の架空線を失念しアームを上げて左旋回したため、バックホウのアームが架空線に接触し切断した。

・手元作業員兼見張員が架空線を監視していたが、段切り作業終了後、片付けのためにその場を離れていた。

【事故発生原因】

- ・見張員がいない状態で移動
- ・バックホウのアームを上げたまま移動
- など

【事故防止のポイント】

- ・見張員を配置し、合図を定めて誘導するように徹底する
- ・アームは下げて移動するように指導等を徹底する など